



教師国内研修の概要

◆JICA 北海道 2022 年度教師国内研修の目的

従来、JICA 北海道では、国際理解教育に取り組んでいる教員・教育関係者の方々を対象とした、開発途上国における国際協力の現場や、人々の生活を視察する研修プログラム「教師海外研修」を実施してきました。しかし、新型コロナウイルス感染症による影響により、2021 年度に引き続き、2022 年度も教師海外研修の代替事業として、北海道内で教材開発に取り組む「教師国内研修」を実施しました。

2022 年度教師国内研修は、北海道内での多文化共生についての取り組みを学び、また、マイノリティの方々、それに関わる方々へのインタビューを通して、学習指導案の作成、授業の実践につなげ、学校現場で国際理解・開発教育を実践する教員の育成を図ることを目的として実施しました。

◆実施体制

主催：独立行政法人 国際協力機構 北海道センター（JICA 北海道）

後援：北海道教育委員会・札幌市教育委員会

協力：北海道開発教育ネットワーク（D-net）

◆研修にご協力いただいた方々の紹介

道内におられる様々な方々、施設にご協力いただき、研修を実施しました。

※氏名、ご所属先は、研修実施当時のものです。

●東川町立東川小学校

講師：教諭 木村 智美氏

●特定非営利活動法人「飛んでけ！車いす」の会

講師：代表 吉田 三千代氏

●さっぽろレインボープライド実行委員会

講師：実行委員会委員長 柳谷 由美氏

●札幌大学アイヌ文化教育研究センター

講師：教授 本田 優子氏

●平取町立二風谷アイヌ文化博物館

講師：貝澤 耕一氏

●菅野茂二風谷アイヌ資料館

●ハポネタイ

講師：代表 恵原 詩乃(UtaE)氏

●浦河町

講師：浦河町地域おこし協力隊 稲岡 千春氏

浦河町で働くインドの方々

●外国にルーツをもつ児童

講師：細田 カズミ マヤラ氏

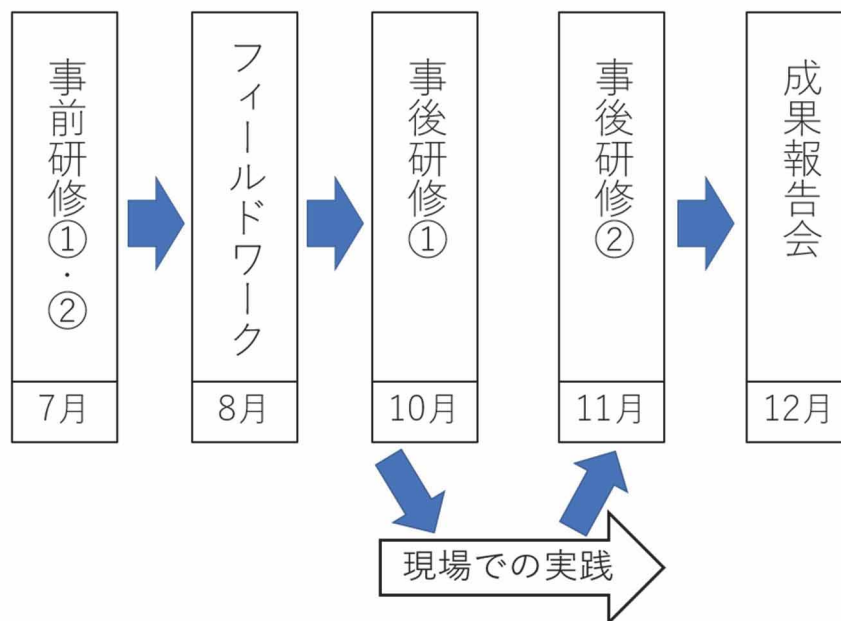
●中標津町

講師：中標津町経済部経済振興課 主幹 神原 誠司氏

講師：中標津町地域おこし協力隊 レ ティ ルエン氏

◆研修全体のスケジュール

各研修・報告会の日時・実施方法等は、以下のとおりです。



2022年度 教師国内研修 年間研修日程

研修	日時	内容	実施方法
事前研修①	2022年 7月16日 13:00-18:30	・本研修の概要説明 ・SDGs概要、教材づくりの講義 ・外国人集住地域における取り組み紹介、やさしい日本語のワークショップ、Globeの取り組み紹介	オンライン
事前研修②	7月30日 13:00-18:30	・「飛んでけ！車いす」の会、さっぽろレインボープライド実行委員会によるフォトランゲージ ・インタビュー質問事項検討、フィールドワーク準備 ・二風谷およびアイヌ文化教育についての講義	オンライン
フィールドワーク	8月6日 8月8日	・平取町、浦河町にて多様な文化に触れ、マイノリティの方々、それに関わる方々へのインタビューを行う ・個人ワークで指導案の素案を作成、アドバイザーによる学びの振り返り	対面
事後研修①	10月8日 13:00-18:00	・オリジナルの教材/指導案検討会	対面/ オンライン
事後研修②	11月5日 13:00-18:00	・参加者による模擬授業の実施とその検討会 ・オリジナルの教材/指導案の共有、授業実践報告	対面/ オンライン
成果報告会	12月17日 13:00-17:30	・参加者による研修概要説明、模擬授業、教材紹介セッション	オンライン

◆参加者

2022 年度教師国内研修の参加者は次の 7 名です。

No.	区分	氏名	所属先	教科等
1	小学校	わたなべ ひろみ 渡部 宏美	苫小牧市立沼ノ端小学校	6 学年
2	中学校	おくやま わたる 奥山 渉	札幌市立太平中学校	理科 1 年
3	中学校	かじの ゆみ 梶野 有美	網走市立第一中学校	特別支援
4	中学校	つちだ まさる 土田 賢	八雲町立落部中学校	社会科 2 年
5	高校	うちだ だいすけ 内田 大資	北海道静内高等学校	地歴公民 1・3 年次
6	高校	にしかわ よしき 西川 佳希	北海道知内高等学校	英語 1 年
7	高校	こめいえ なおこ 米家 直子	北海道池田高等学校	地歴公民 2 年

◆アドバイザー紹介

本研修では、国際理解教育の実践者として 2 人のアドバイザーの方からご指導・ご助言をいただきながら学習指導案の作成、授業実践を行いました。

アドバイザー：北海道開発教育ネットワーク(D-net) 代表 東峰 宏紀氏

千歳市立支笏湖小学校校長 / 石狩管内国際理解教育研究協議会副会長 / 日本国際理解教育学会会員

2002 年、在外教育施設派遣教員として在チェコ大使館付属ブラハ日本人学校へ赴任。2006 年には北方圏センター開発教育ファシリテーター養成事業海外研修（カンボジア・ベトナム）に参加。2007 年、2010 年には日本国際理解学会において研究の発表をしている。また、科学研究費助成事業（日韓中の協働による相互理解のための国際理解教育カリキュラム・教材の開発）の研究にも参加している。2013 年からは長期社会体験研修にて JICA 北海道市民参加協力課勤務、教師海外研修（フィリピン）に同行。2015 年度には教師海外研修（エチオピア）にてアドバイザーとして同行。また、地雷問題を考える「カンボジアの子どもたち」など、自主開発教材も多数発表している。

アドバイザー：北海道開発教育ネットワーク(D-net) 副代表 塚田 初美氏

元旭川市立緑が丘小学校教諭 / 日本語パートナーズタイ 7 期派遣

2004 年、JICA 国際理解教育/開発教育指導者研修で受けた北海道教育大学の大津和子教授の講義に感銘を受け、2008 年の JICA 教師海外研修(タンザニア)に参加、「特別支援学級と通常学級の交流で進める国際理解教育～タンザニアを窓口にして～」を報告した。2009 年から 2019 年まで主に特別支援学級における国際理解教育および外国語活動の実践研究を発表。2016 年、2017 年には JICA 教師海外研修（ミャンマーおよびマレーシア）にアドバイザーとして同行。2019 年に約 10 か月間、国際交流基金（JF）の日本語パートナーズとして、タイの高校で日本語の指導支援をした。多文化共生を考える「同級生は外国につながる子ども」など、自主開発教材も多数発表している。